

夢へのかけはし

教育やスポーツ、文化・芸術などの分野で活躍する若者たちを紹介します。

篠山鳳鳴高校男子バレーボール部 2年連続で近畿大会出場

篠山鳳鳴高校男子バレーボール部が、兵庫県高校総体でベスト16に進出し、7月20日から23日まで兵庫県で開かれる近畿高校総体への出場権を獲得しました。丹有大会を1位で通過した同校は、県大会では伊川谷高校、浜坂高校とともにストレートで下し、順調に勝ち上がりました。続く3回戦の神戸北と北神戸総合高校の合同チーム戦では激戦となりましたが、粘り強い守備から攻撃へつなぐ持ち前のバレーで接戦を制しました。4回戦では、新人戦で敗れた川西緑台高校と再戦。雪辱を期して試合に臨んだものの惜しくも敗れましたが、ベスト16入りを果たし、近畿大会への切符を手に入れました。

キャプテンの有田新之助さんは、「昨年の先輩たちのように近畿大会に出場することを目標に頑張ってきました。みんなで出場権を勝ち取ることができて本当にうれしいです。近畿大会では、まず1勝を目標にチーム一丸となって頑張りたい」と意気込みを語りました。また、顧問の岡田宗大さんは、「序盤から流れをつかみ、チームの勢いが出れば勝利も見えてくる」と選手たちにエールを送りました。



大学連携でんしよばと

問い合わせ
神戸大学・丹波篠山市農村イノベーションラボ ☎FAX 506-6628
丹波篠山フィールドステーション ☎FAX 506-2366

学生・アクション ラーニング



令和8年度神戸大学食農コープ教育プログラム 「実践農学入門」大山地区で開始!

神戸大学農学部の「食農コープ教育プログラム」の一環として進めている「実践農学入門」がスタートしました。本授業では、学生が地域の農家に弟子入りし、農作業体験を通して農業や農村生活への理解を深めます。最後には成果発表として、学生が見つけた課題と解決のための提案を行います。

今年度は大山地区で、農学部の1・2年生42人がお世話になります。

1回目の現地実習は、午前に大山地区の追入集落・明治トンネルなどを散策した後、受け入れ農家の皆さんと昼食を取りながら交流しました。午後は各班に分かれ、これから実習する場所を訪れたり、竹炭づくりや大山すいか用の電柵を設置したりしました。

農作業経験がない学生が多い中、農家の指導のもと、楽しくかつ真面目に作業を行いました。

この授業を通じて、学生が丹波篠山の農業や農村生活から多くの学びを得ることを期待しています。



日本最古のレンガ造りのトンネルである、鐘が坂峠の「明治トンネル」。中ではコウモリに遭遇し、驚きました!



昼食は、地域で伝統料理などを製造・販売しているグループ「結良里」の皆さんがとふめしと豚汁を作ってくださいました。



農家の方からレクチャーを受けながら、大山すいかの電柵を設置しています。

ユネスコ創造都市として工芸家の活動が盛んに。市内で活躍する工芸家たちの手仕事に迫り、作品に込められた思いや制作のこだわりを紹介します。



つくる人 Vol.15

こだまれおな 児玉玲央奈さん

丹波篠山市西荘地区に工房を構え、日々作陶されている児玉玲央奈さん。千葉工業大学在学時のサークル活動で、自分が製作した器を気に入って購入する方がいることがとてもうれしくて、「陶芸をやってみよう」という気持ちで芽生えました」と話します。その後、本格的に陶芸を学ぶため、京都伝統工芸大学に入学されました。在学中には、展覧会で目にした青磁の深みのある色合いや、その美しい濃淡に魅了され、青磁に興味を持つようになり

ました。その後、三田青磁や王地山焼の窯元を見学する機会があり、その縁もあって、2009年に王地山陶器所に就職されました。陶器所では、竹内保史さんに師事し、ろくろや成形、釉薬掛けなどを幅広く学びながら、陶工としての経験を積み重ねました。そして、2024年には独立し、自らの工房で磁器の仕事に取り組みました。「王地山焼には独自のスタイルがあり、その枠をはみ出して自分自身の表現を追求することは難しいと感じるよう

になりました。そこで、自分ならではのものをつくりたいという思いから、独立しました」と児玉さん。続けて、「今取り組んでいるのは、青磁とは少し違う色合いの作品です。藍色の釉薬を使った作品で、藍釉（あいゆう）と呼んでいます。装飾には、スポイトに入れた泥を絞り出して文様を描く、「イッチン」という技法を取り入れています」と話します。また、児玉さんは、昨年4月から母校である京都伝統工芸大学校で陶芸専攻の講師を務め、学生の指導と自身の製作活動の両立に励んでおられます。「ぐい呑や小鉢など、土型を使った作品も少しありますが、王地山陶器所で学んだ技術を生かし、今後はより繊細な模様を取り入れた土型づくりに挑戦していきたい」と、熱い思いを話されました。

催しのご案内

■第3回 大美現代作家新作展

【日時】

7月10日(金)13:00~17:00

11日(土)10:00~17:00

12日(日)10:00~16:00

【場所】 大阪美術倶楽部

(大阪市中央区今橋2丁目4番5号)

今月のこんにちは市長室

市長が市政に対してのご意見やご要望をお聴きする場として開催しています。事前の申し込みは不要で、お越しいただいた順に面談いただきます。

と き 7月10日（金）13:30～16:00

ところ ハートピアセンター

問い合わせ 市長公室 ☎552-5109

ふるさといちばん

市長の **HOT** とーく

丹波篠山の時代をつくろう



テレビや映画の舞台に期待しています！

かわいさを
河合雅雄先生を

NHK朝の連続テレビ小説に！

丹波篠山で生まれ育ち、世界のサル博士としてご活躍された河合雅雄先生を題材にしたNHK朝の連続テレビ小説を実現するため、昨年11月から署名活動を行っています。

河合先生は人間のなかの「悪」の根源、ひいては「人間とは何か」ということを問いながら、サルからヒトへの進化の道筋を解明することに邁進されました。戦争や環境破壊などの課題に直面する現代社会だからこそ、河合先生の生涯をドラマとして放送し、人と自然との共生、命の尊さを多くの人に伝えることには大きな価値があります。

現在約1,000人の署名が集まっていますが、5万人をめざしていますので、皆さまのご協力をお願いします！



NHK神戸放送局長と（R6年7月）

半沢直樹が特急列車でやってくる

テレビドラマで大ヒットした「半沢直樹」。シリーズ5作目となる「アルルカンと道化師」には丹波篠山が登場します。5作目は1作目よりも前の物語で、融資課長の半沢直樹が買収案件の秘密を探るため、特急列車に乗って丹波篠山にやってきます。物語の中盤、隠された秘密に気づき、盛り上がる場面です。

ぜひこの5作目をドラマ化してもらえないかと、東京にある講談社本社に訪問もしました。今後のドラマ化に期待しています。



講談社を訪問しました（R2年10月）

映画「黒牢城」篠山城跡で撮影

6月19日公開の映画「黒牢城」の撮影が篠山城跡で行われました。戦国時代を舞台にした歴史物の心理ミステリーです。荒木村重は暴虐な織田信長のやり方に反発し籠城作戦を決行したことで、城は織田軍に囲まれ密室となります。そんな時に城内で殺人事件が起こり、囚われの天才軍師 黒田官兵衛がその謎に挑むという物語です。

舞台は現在の伊丹市にある有岡城ですが、明石城、姫路城などで撮影が行われ、冒頭シーンは篠山城跡で撮影されました。篠山城跡で有岡城の総構えを再現するため、城門や物見櫓、村人の住居を建築したそうです。

篠山城跡は、木村拓哉さんが織田信長を演じた「レジェンド&バタフライ」でも撮影地になりました。



篠山城跡での撮影風景（R7年11月）

黒大豆栽培のワンポイント

7月

日本農業遺産認定

丹波篠山の黒大豆栽培・300年の歴史

問い合わせ 農都政策課 ☎552-1114

中耕培土を実施する

中耕培土は畝間の表土を浅く耕す作業で、根張りをよくし、根粒菌の働きを高めるために行います。

●1回目 ▶7月上旬

三枚葉の本葉2枚から3枚のころにうえみぞやはしゆみぞを埋め戻す程度に軽く土寄せします。

●2回目 ▶7月中旬～下旬

本葉5枚のころまでに、初生葉が埋まるように強めに培土します。これにより埋まった初生葉の節からの発根が促され、根量が増えて根粒菌の活動も活発になります。追肥する場合は2回目の中耕培土の直前に行います。

支柱を立てる

2回目の中耕培土後に支柱を立てます。畦の中央に1本立ててマイカ線で株を固定する方法と、畦の端に2本立てて支える方法があります。重要なのは、生育初期に発生する下位節の分枝をしっかり支えることです。下位節の分枝は横に広がりやすく、放置すると自重で折れたり、作業中に傷んだりするためです。これらの分枝は、株全体収量のおよそ15%を占め、極大粒も多くつく大切な分枝ですので、支柱でしっかり保護することが収量アップにつながります。



かん水の心構え

近年は梅雨明け以降、雨が降らないことが多いため、必要な時にすぐにかん水できるよう、事前に溝の補修や点検をしておきます。ほ場の状態をよく観察し、畝肩が乾いて白くなったら畝間かん水を実施します。

7月のかん水は、黒大豆の成長に特に効果が大きく、節数や分枝数を増やして多収につながります。かん水は気温が下がる夕方以降に行い、水量が少ない場合は畝を分けて数日かけて行います。

※翌朝まで滞水すると根腐れの原因になります。畦に十分に浸透したことを確認したら、必要に応じて排水しましょう。

⚠ 病害虫に注意

茎疫病・べと病の予防やアブラムシ、ハスモンヨトウなどの害虫も発生が始まる時期です。病害虫発生情報にもご注意ください。

7月下旬からかん水の目安となるかん水アラート情報をJA丹波ささやま市のホームページまたは、JA丹波ささやまの公式LINEでお知らせしますので、ご確認ください。



LINE登録